愛逢（あいあい）

第66号

特定非営利活動法人 愛逢
尼崎市小中島１-20-21
電　話　06－6493－1424
ＦＡＸ　06－6493－1443
発行責任者　海士 美雪
発行日 2016 年 1 月 20 日

本年もよろしくお願いします

皆様におかれましては、穏やかなお正月を過ごされたことと、お慶び申し上げます。

昨年は災害が多く発生し、天変地異に脅かされましたが、地球温暖化が進んでいる今後も、四季折々の気候の変化も微妙になってくるでしょう。

さて、昨年(２０１５年)の介護保険法の改正で、「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」のサービスが、２０１７年度末までに、国の介護保険サービスの枠から外れ、市区町村の地域支援事業（新しい総合事業）へと移行することは、すでに開示されています。

尼崎市の対応がまだ明確に見えなくて、愛逢の事業展開に、不安要素が増すばかりです。

地域課題は複雑化し、ひとつの団体で解決することは、困難になってきています。

幸い、愛逢では一昨年より、スタートした居場所づくりや子育て支援などの事業を通して、地域課題を共有する組織・団体と繋がることができました。心強いネットワークです。

愛逢の原点である、助け合い活動の精神を踏まえ、どのような事業をどのように展開していけるかを、理事・スタッフで考えていく所存です。

本年も皆様の益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人愛逢
理事長　海士 美雪

ミッション（社会的使命）

私たちは、多様な生き方が尊重され、誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、仲間と支えあい(愛)つなぎあ(逢)っていきます

NPO 法人愛逢では、地域の皆様が日常生活で「困ったなぁ…」と思ったときに、ご相談いただける場所です。様々な形の**【困った時はお互い様精神】**が愛逢の掲げる思いとして今日も活動しております。

第10回 生と死を考える市民講座を終えて
～いのちをつないでいく地域へ～

■「いのち」を考える

今回の講座は、子どもや若い世代と一緒にいのち(生と死)について考えたいという思いから内容や形が決まっていきました。

それは、事故や災害、病気で人はいつ死ぬか分からないですし、子どものころから自分や家族、友達のいのちの大切さを知る・考えることが必要だと思うからです。このような経緯の中で、講座のテーマが写真家でもある國森康弘さんの『いのちつぐ「みとりびと」』に決まり、地域の学校、団体の協力のもと、開催されました。また、愛逢では初めての試みにもなった國森さんの写真展も同テーマで併催しました。

■「死生観」を伝える

“看取り”と聞いてみなさんはどんなイメージをお持ちでしょうか。「死、お別れ、悲しい」などでしょうか？私が、愛逢の家の看取りの中で感じたことは、悲しみだけではない「安心、感謝、あったかさ」です。この目に見えない部分を伝えていたのが國森さんの看取りに関する写真とお話でした。旅立つときの本人の安らかな表情、周りを取り囲む家族の悲しみと感謝の涙、そして笑顔。看取りには死に立ち会う瞬間だけではない関わりや物語があります。

■「思い」を受け取る

講座と写真展を終え、大人も含め小学生の感想から、一つしかない自分と周りのいのちの大切さと、つながりに気づいたり、身内の看取りの体験を思い出したりしていたようです。もちろん、「死が悲しい」という感想もありましたが、一人ひとりが感じたままの気持ちや思いを大切に抱き、また機会がある毎に思い出し、語り合うことが大切だと思います。ご家族や知人と看取りの体験など話す機会を持ってもらえたらうれしいです。

（愛逢の家　西山裕規）

大阪配食サービス連絡会学習会

「市民による食事サービスの課題と今後の展望を話そう」

１２月１３日、関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催。

当法人岩本理事(関西学院大学)の研究テーマ「配食サービス」の現状認識と活動者の意見交換の場として、初めて開催されました。「全国老人給食協力会」と「ミールズ・オン・ホィールズ南オーストラリア州協会」の報告のあと、配食サービスを行っている、愛逢を含む３団体で事例発表がありました。長年活動を継続していく中、メンバーの高齢化と次代の担い手不足という人材の不安、公的な支援を受けていても、財政は困窮していく経済的不安が大きいという課題が出ました。今後の配食サービスの施策上の位置づけなど、活発な意見交換も行われました。

第11回地域交流もちつき大会

１２月２０日、寒さもさほどきびしくなく、陽射し良く気持ちいい一日でした。たくさんの人で賑わい楽しく過ごすことが出来ました。子供たちのいい笑顔で大人の人の顔も、とてもいい顔されていました。スタート時は人もポチポチでしたが、時間が来ればワイワイガヤガヤとても良かったです。少しお餅の量の方が少なかったようにも思えましたが、来年の注意点として、また楽しみにしたいです。

（配食サービス　上田園美）

ホームホスピス全国研修会

１２月５～６日の２日間にわたり熊本におきましては、恒例となりました「ホームホスピス全国研修会第４回」が開かれました。

１日目は公開講演会、金井先生のＫＯＭＩ理論、米沢先生のホスピスの源流、そして市原さんを交えての鼎談(ていだん)でした。

全て、私たちが今行っているホームホスピスの実践を、理論で語りなおしてくれていると感じさせるものでした。ケアの本質は生活を整えること、看護とか介護とか区別できるものではない、そして、それはがんやエイズに限らず、すべての人に開かれていなければならない、と。

２日目は、４年をかけて作り上げた“ホームホスピスの基準”の解説でした。制度に乗らないホームホスピスは、貧困ビジネスなど、似て非なるものと混同されやすいために、商標登録を取得し、基準を作り儲からないけどやりたい人たちの思いを形にしました。

今年の１２月には、愛逢が実行委員となり、全国の仲間が集まりやすい新大阪で、第５回を開催する予定です。皆さまには様々なご協力をお願いすると思いますが、その節はよろしくお願いいたします。

（愛逢の家　兼行　栄子）

トライやるウィーク

１１月３０日から１週間、小園中学校から２年生の職業体験の受け入れを行いました。

今回は男の子ばかり４人。初日ははずかしそうにニコニコするだけでしたが、少しずつ慣れてきてだんだんと大きな声であいさつ、返事が出来るようになっていました。

利用者の方達もうれしそうによくお話してくださいました。

・とてもいい経験ができた（平田）
・この経験を将来に役立てたい（山下）

愛逢の家での研修終了

私は、大阪市旭区でホームホスピス設立準備をしています。愛逢の家の兼行さんと出会ったことがきっかけとなり、準備を進め、昨年の６月から６か月間の研修をさせていただきました。６カ月の研修を通して感じたことは、愛逢の家には「暮らし」があるということでした。小さなことから自立支援を心掛け、その方の「暮らし」を守る支援をされています。１０５歳になってもできることがあり、やり続けることができる暮らしを守っている愛逢の家、大いに、見習いたいと思っています。

（愛逢の家研修生　松澤ミサホ）

愛逢の家の元旦、スタッフが手作りしたお節が並びました。どうぞ、今年も穏やかな１年でありますように。

第 24 回雪まつり

■日時：2016 年 2 月 11 日（木・祝）
　　11 時より
■場所：丸橋公園
■雪で遊んでみませんか？
　屋台・出店もありますよ

愛逢特製お節が好評！

１２月３０日、配食サービスのメンバーが心を込めた、手作りお節をお届けしました。お味はいかがでしたでしょうか？
来年もよろしくお願いします。

【報告】さわやか福祉財団近畿ブロック研修会

■日程：２０１５年１２月２０日
■場所：ホテル新大阪コンファレンスセンター

２０１４年の同時期に第１回目が開催され、地域団体が「協議体」としてネットワークを構築し、協働して地域支援を行うため、繋ぐ役割としての地域支援コーディネーターの養成を早急に取り掛からなければならないとの合意を得ました。

それを受け、近畿６府県からこの 1 年間の活動報告が行われました。兵庫県からは、さわやか財団のインストラクターでもある桑山さんから、愛逢の行っている居場所ぼちぼちを事例に挙げて、報告がなされました。それぞれの団体ができることは限られても、協働することにより、広がる可能性は大きいと期待されます。

（海士　美雪）

お気軽にご相談ください

何かお困りのことがあれば、お気軽に愛逢にご相談ください。

■日常生活のお困りごと相談は、いつもで事務所にお立ち寄りください。
　※月～土（日・祝休み）／９時～１７時
■遺言・成年後見・税務など専門的な相談には、司法書士・税理士が対応します。
　（場合により、出張相談も可能です。）
　※予めご連絡ください。（初回無料）
　連絡先：愛逢事務所（06）6493-1424

■ぼちぼち
　これからの予定
・1月27日
・2月10日・24日
第２・４水曜
１３：００～１６：００
☆ナイトぼちぼちは
　３月まで冬眠中。

ほっと待夢（たいむ）

ほっと待夢の原稿を考えた時、正月の行事のことを思い出しました。
色々ありますが、女の子が誕生した時にお祝いの羽子板を初正月に飾る等、最近はあまり見たり聞いたりしたことはありません。

でもどうして羽子板が初正月に飾って祝うのか調べてみました。それは羽子板で突く羽根の玉は黒くてかたい玉は「むくろじ」という大木の種だそうです。この「むくろじ」は漢字で「無患子」と書きます。つまり無病息災の意味です。また男の子が誕生すると破魔弓を同じく初正月に飾り、邪気を払いお子様の成長を願うお守りになります。日本の伝統は素晴らしいですね。

皆様、小さい羽子板でお友達と遊んだ事を思い出しませんか。

（ひまわり）